

総合計画がなぜビジョンか

答 柔軟に対応できるため



中原 明議員

議員 平成24年1月発行広報ひのに「きらりと光るまちづくり」を目標に、第5次総合計画を策定中です。ご意見を

お寄せくださいと掲載されました。

3月には、日野町まちづくりビジョンに変更されました。根拠は、何でしょうか。

町長 目まぐるしく変わる社会の中、柔軟に対応できるようにと、ビジョンという名称を用いました。

議員 総合計画は議会の議決すべき事件として、議員発議により条例制定しました。

しかし、議会の議決が必要となるので、まちづくりビジョンに変更されたのではないですか。

町長 文字を羅列した総合計画より実効性が高いとの観点から、まちづくりビジョンを策定しました。

名称を変えた要因は何か

議員 総合計画とビジョンの違いは何ですか。

企画政策課長 今後5年間、町の姿を描くのは共有しており、何ら違いはないと思います。

議員 内容が一緒なら総合計画は、議会の議決を避けるための名称変更ではないですか。今後の施策の基本方針なら説明責任が果たされています。

町長 パンフレットを作り、配布しており、写真等でわかりやすく、読めばわかると思われる周知徹底を図っています。

議員 24年度自治会長会議で、何の説明もされていません。本来なら各自自治会に出かけ説明されるのが、当然の義務ではありませんか。

町長 このビジョンは、今まで積み重ねた集大成であり、よくわかるビジョン書であると思います。自治会長会議では、説明不足でした。

年次計画なければ

絵にかいた餅

議員 ビジョンにも数値目標を立て、成果指標を検証しないと、絵にかいた餅にしかすぎません。

町長 数値目標を立て、成果検証することは、大部分の分野でなじまない。行政・議会・町民が共有し、取り組んでいくことが重要と考えています。



住民手づくりの敬老会

議員 年次計画を立て、成果指標を検証しないと、頑張ったと思っても、これは行き当たりばったりで、自己満足です。

町長 財政推計を毎年見直し、論議を重ね、健全化に努めます。



町が配布したパンフレット



中原 信男議員

若者定住促進対策は

答 空き家の有効活用で

議員 若者世代及び、Ｉターン、Ｕターンの者の定住促進対策について質問します。

人口減少を極力抑え、町の活性化を維持、推進していくために、定住対策を講じる必要がありませんか。

具体的には、町有地または民間の空き地を有効活用し、住宅地として確保し、若者世代、Ｉターン者、Ｕターン者に優先的に提供する取り組みを考えることが必要ではないでしょうか。

町長 現在、若者世代及びＩターン、Ｕターンの者の定住希望に沿うような町有地または、民間の空き地の情報はないが、

今後そのような案件が出てきたら、その時点で検討をしていきます。

また、空き家が増えてきており、これを有効活用することが一番やりやすいかとも思っています。

日野町に住みたいというまちづくりを本腰を入れて取り組んでいかなくは、町自体が動かなくなります。こういう意識は強く持っています。

日野川の水質は

議員 日野川の現状、特に水質について質問します。

近年、川魚が減少し、昔な



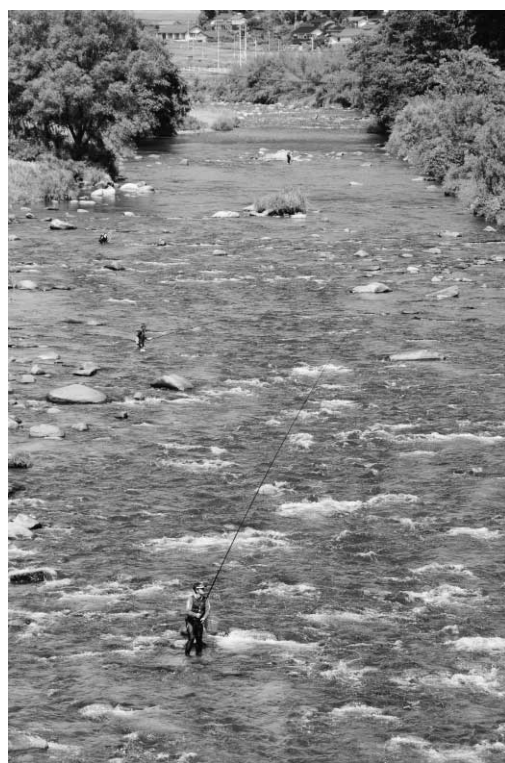
成人式でＩターンした若者が講演

らどこにでもいたウグイ・ハエなどなかなか見かけられなくなりました。

特に今年は、アユの数が少なく、6月・7月と全く釣れない状況でした。どこに原因があるのか、一度調べる必要があると思います。

アユ釣りや町民及び関係者のためにも、日野川の水質調査を行い、問題があれば改善策を講じるよう関係機関に要請すべきではないですか。

町長 鳥取県では、法に基づき毎年測定を行った結果を公表しています。BOD（生物化学的酸素要求量）が、平成23年度は環境基準を達成して



アユ釣風景

います。

水質汚濁の負荷を軽減するために、日野川流域の関係する自治体、鳥取県及び日野川漁協などと連携し、水質保全に努めていきます。

必要に応じて関係機関に要望しながら、日野川流域の自然環境を守り、子供たちに美しいままの日野川を引き継いでいきたいと考えています。

日野川から魚が消えている。誠に残念なことだと思います。よみがえれ、日野川ということで、私としてはできる限りの努力をしてまいりたいと思っております。

ぜひ編さんしたい





安達 幸博議員

消防ホース整備の支援は

答 全額はできないにしても



消火栓の点検及び訓練

高齢者や女性が使いやさうように、65mmのホースから50、40mmのホースに換えるための装備に支援をしませんか。

町長 消火栓は、初期消火に有効です。ホース等の整備は大事なことで、全額はできないにしても整備の支援がどこまでできるか重要な課題と認識しています。

議員 西部広域消防体制は、十分な人員配置がされていますか。

町長 西部圏域の火災・救急の出動を考慮した人員配置のため、各地域で同時に出動事案が発生すれば、手厚い配置が必要です。行財政改革で西部圏域の全体の見直しの結果出張所の人員が削減され、日野郡内で出動事案が発生すれば、他の消防署が広域的に補完する体制となっています。

議員 本年1月の街部の火災で、広域消防の現場到着が遅くなったのは、このような配置に原因があると思われます。

一方救急出動が、多くあることも事実です。

救急車で早く診察ができるなど、緊急性に欠ける出動要請もあるようです。

人命にかかわることなどで適切な利用を徹底しませんか。

町長 救急車の利用が多く、消防車と救急車の乗り換え運用方式の現況では、ご指摘のようなことが起きます。

救急車の利用については、同様の認識です。

議員 火災の時、消防車が遅くなる場合があるならば、自治会等の消火栓の消火活動は重要です。

道路の維持管理は



町道根雨一号線（根雨の町並み）

議員 根雨の通称本通りと言われる道路は、道路の陥没が増えてきました。

下水道配管工事や道路にそって流れる水路が原因と聞きおよびます。

アスファルトの下部が空洞になっていると思われます。

道路状態の実態調査が必要ではありませんか。

町長 根雨地内の町道1号線、

西側支1号線などの町道と並行して流れる水路からの漏水に起因し一部路床が流出し、路肩陥没が顕著です。

軽微なものは、役場職員で復旧し、これ以外は建設業者で対応をしています。

巡回の回数を増やし、修繕及び補修を優先して、安全を確保したいと思っています。

今後の町道改良や大規模な修繕等は、必要性、緊急性などを検証して対応します。

自主防災の強化へ

答 住民と一体の取組みに



佐々木 求議員

議員 集中豪雨、南海トラフ地震など非常に懸念されています。防災体制と防災意識を

高める活動を地域全体で取り組む課題への対応が急がれています。土石流マップへの反応、意見はどうでしたか。
来春できる防災計画をガイドラインとして、住民の中に持ち込む際、集落によって条件も違うが、そのことを認識したうえで、指導することが必要になります。各自主防災組織が、議論のできる中身を

持つて出かける必要があると思います。

町長 38自治会中37自治会で説明会を開催した。災害の恐ろしさや、主に避難場所や避難経路の問題、住民に対する情報提供、土砂災害特別警戒区域の調査方法等についての質問がありました。

現在各地域で指定されている仮避難所は地震災害を想定したもの、中には災害警戒区域内や土砂災害特別警戒区域内に設定されているところもあり、地域全体で検証し、見直すことが必要となっています。

いろいろな災害を想定し、現在各自治会に対しても仮避難所の再検討と、要援護者情報の収集も依頼しています。住民と一体となった防災計画を策定したいと思っています。

地区担当制について

議員 職員の集落担当制について、各自治会に意義が十分理解されていますか。実際に具体的な内容が出て、どのように集約されているますか。具体的な相談窓口としての役割が当然大きくなると思います。防災計画とのかかわりはどう考えていますか。

町長 文書発送業務を手始めに実施。まずは御用聞きからという発想です。基本的には共通理解もでき、各集落に出かけ、意見等持ち帰っています。



文書を自治会長へ配布

す。ただその後の対応には温度差がある。必ず報告書を提出させ、担当課なり総務課で対応し、処理しています。相談窓口としての役割は大きくなるという見えており、行政と地域が一体となった取り組みができてくると考えています。

高齢者への冬場の訪問活動は、自治会を通じて、関係部署、団体と連携して訪問したいと思っています。

総務課長 報告書は担当者、班長、主管課長、町長と情報を共有し、最終的な処理をどうしたかも書き、総務課で管理しています。



可搬ポンプの点検及び訓練